



令和元年 6月25日  
 久喜市立菖蒲小学校  
 久喜市菖蒲町菖蒲 625  
 0480-85-1202  
<http://www.kuki-city.ed.jp/shobu-e>

「柔軟な発想を生む受け入れ箱と比較箱」伸ばせ活用力！

校長 矢嶋 正俊

先日、天気予報を見ていたら、降水確率 20%といていたので、雨具を持たず外出したら、突然激しい雨に降られ・・・それもオフィス街の帰宅時間と重なって、コンビニに傘を買いに行ったら、既に売り切れ（涙）降水確率 20%なのに。なぜ、大雨が降るの？と悲しんでいた私の友人。降水確率とは？「同気象条件での過去の雨の実績」から算出されたもの。つまり、同じ気象条件の時に過去にどれくらいの雨が降ったのか、その実績を基に今後、何%ぐらいの降水が予想されるのかを算出することだそうです。「東京で降水確率 50%」とは、「東京のどこかで 100 回予報が出された時に、50 回は 1 ミリ以上の雨が降っている」という意味だそうです。よく勘違いするのは「降水確率が高いと大雨が降る」と思ってしまうことです。降水確率の高さと雨の量は全く関係が無く「1 ミリ以上の雨が降る」ことを前提としています。僅か 1 ミリでも降ればいいのです。ああ勘違い？「降水確率が低ければ大雨は降らないのさ」という先入観が悲劇を生みました。降水確率が 100%とは、100 ミリ前後の大雨が降らなくても、1 ミリ以上の雨が降ったら予想はあたったこととなるのです。また、今自分のいる場所に雨が降らなくても、わずかに 2~3 km 離れた場所で降水が観測されたら、同じ予報区域内で雨が観測されたことになるのです。自分のいる場所で雨が降らなくても、予想が外れたとはなりません。私の友人は降水確率が高いと大雨が降るという先入観を持っていたので、びしょ濡れに（笑）

「自動販売機は便利なので、IT 化、グローバル化した豊かな世界では、おおいに普及している」「車が来なくても、赤信号では横断しないで待つ」「お絵描きする時、太陽の色は赤に塗る」「森林は二酸化炭素を吸収するので、いつまでも伐採しない」「石油はもうすぐなくなる」「地震や火山噴火は予知できる」「織田信長は権威をないがしろにした、失敗を許さなかった、戦に強く負け知らず」これらのこと、先入観により、思い込みや固定概念の罠にかかっていますか？自動販売機は他の国では、盗難にあたり、無駄な電気の消費問題があり、日本ほど栄えていないそうです。車が来なくても赤信号をきちんと守るのは日本人、他の国の人は・・・。太陽の色を赤く塗るのは日本の子ども、他国では金や黄色に塗ります。木は 20 年から中年期、60 年以降を老年期といい、中老年期では光合成を行わなくなります。二酸化炭素を吸収しなくなります。年をとった杉は花粉を大量に出しもします。森林をそのままにしておく私達の生活に影響がありそうです。石油は私が子どもの頃（1970 年代）あと 40 年でなくなるといわれていましたが、まだなくなりません。二酸化炭素があれば石油は枯渇することがないといわれています。東海沖地震、富士山噴火いつ来るのか、明言できる学者さんはいないみたいですね。織田信長は、権威を使って尾張を統一したり、失敗した部下を何度も許したり、部下に仕事を任せず寝ずに自ら率先して働いたり、謝りの名人だったり、戦も 30 敗ぐらいしています。武田信玄は生涯 2 敗、上杉謙信は無敗（1, 2 敗したという説も）でした。イメージと違いますね。

このイメージを作っているのが先入観です。子どもの頃から家庭、学校、本、新聞、テレビ、インターネットで、信用できる人や媒体から、正しいこととして教えてもらったことが、先入観、固定概念として脳にインプットされるのです。人は得てして、自分が大切にしている先入観と違ったことをいわれると、違う意見・考えを受け入れようとはしません。時には言い争いも・・・。もしかしたら、この先入観のせいで、柔軟な発想を否定していることがあるのではないのでしょうか。昔、覚えたことだけを頼りに、新しい理論・知恵や考えを受け入れること否定していませんか？

これを解決する方法はあるのでしょうか？あくまでもイメージですが、大脳の中にある「今まで教えられた知識」「過去に経験した知識」を 100%だとしたら、それを 80%ぐらいにとどめ、残り 20%に空いた場所を作るようにします。そして 20%のうちの 10%を「受け入れ箱」残り 10%を「比較箱」として脳内に作り出す。「今まで教えられた知識」「過去に経験した知識」は先入観です。これが無いと人は生活できません。信号が赤の時、止まらない人になってしまいますね。人は、自分にとって都合のいいことは理解しようと思っても、そうでないことは自己防衛する形で、意見や考えを遮断しがちです。先入観と違うことを言われると、言い争いになるのは、このことが関係しています。そこで、脳内に「受け入れ箱」を作れば、自分に肯定的な意見も否定的な意見もどちらにも耳を傾けることができるようになります。たとえ相手が否定的なことを言っても、話を遮るのではなく、また同意するのではなく、相手が何を言おうとしているのかを理解するのです。今直ぐではなく、明日振り返ってもいいのです。「昨日聞いた自分の意見とは違う話を、受け入れ箱から取り出して、自分が今まで培ってきた知識、つまり先入観を取り出し、それを比較箱に入れて、昨日言っていたことはどういう意味だったのかを冷静に比較してみるのです」自分とは違う意見をハナから否定するのではなく、その話が素直に頭に入るはずで、「聞いてみよう」という気持ちがいつも持てるようになり、新しい知識、思考、発想が今まで以上に身に付いてきます。

この脳の働きを意識して、本校は「新しい学び」に取り組んでいます。今までの知識だけを暗記する、暗記したことを正確に書く学力だけを伸ばす勉強ではありません。新しい知識を得るために柔軟な発想を生かすのが「新しい学び」の長所です。昨年の大学センター試験、社会科でムーミンの問題が出題されました。世界史や地理で学んだ北欧の知識をつなぎ合わせていくと回答にたどりつく問題でした。報道では、「教科書に載っていないことや、アニメを知らない人は、回答できませんね」と否定的な意見もありました。社会科は暗記教科、知っていることを書く勉強の先入観がある人は、多分否定的だったでしょう。自分の知識を贅いしたり、常に聞いてみよう、比較してみようと考え続けている、勉強してきた人は、多分楽しくこの問題を解いたと思います。この解く力の基が、今世間で騒がれている「活用力」という学力です。活用力を育てるために、受け入れ箱、比較箱を生かす授業を通して、菖蒲小は活用力を育てていきます。柔軟な発想ができるしょうぶっ子を育てて参ります。矢嶋校長の言うことだから「また冗談半分だろう」という先入観は持たないで下さいね（笑）しょうぶっ子は夏休みも活用力を伸ばします。ご協力よろしくお願いたします。

今回の資源回収は 9 月 28 日土曜日です

**6月3日(月) プール掃除 5・6年**

プール開きに向け、5・6年生がプールをきれいにしてくれました。久しぶりのプールです。きれいなプールを見て、早く入りたい気持ちでいっぱいです。



**6月4日(火)～6日(木) 菖蒲中職場体験**

今年も菖蒲中の生徒さんが職場体験に来ました。将来の夢を実現するための一歩です。先生の仕事はどうだったでしょう？



**6月5日(水) 校内硬筆展 競書会**

校内硬筆展の競書会がありました。学校や家庭で練習し、この1枚に集中して、作品を書き上げました。



**6月13日(木) プール開き**

令和元年のプール開始です。水から「パツ」と顔を出すと上手になりますと校長先生に教えてもらいました。楽しく安全にプールを楽しみましょう。



**6月13日(木) 歯科保健指導 むし歯予防教室 1・3年**

むし歯予防教室がありました。むし歯にならないよう、正しい歯みがきの仕方などを歯医者さんに改めて教えてもらいました。今年もむし歯ゼロをめざしましょう！



**生活目標：廊下や階段を静かに歩こう**

**7月の行事**

日	曜日	行事等予定
1	月	クリーン活動 計算オリンピック 学力アップ週間 ～5日(金) <b>第1回月例集金振替日7月分</b>
2	火	学級PTA
3	水	ふれあいタイム
4	木	委員会活動 漢字オリンピック
5	金	<b>第2回月例集金振替日7月分</b>
6	土	
7	日	
8	月	学期末特別日課 ～12日(金) 大掃除週間 ～12日(金)
9	火	
10	水	
11	木	教育相談日
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	海の日
16	火	
17	水	
18	木	給食終了 4時間授業
19	金	終業式 3時間授業 集団下校
20	土	夏季休業日
21	日	林間学校 5年
22	月	林間学校 5年
23	火	林間学校 5年
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

**子ども学習会 会場：しょうぶ会館**

7月23日(火)、29日(月)、30日(火)、8月5日(月)、6日(火)、7日(水)、8日(木)

**サマースクール**

8月26日(月)、27日(火)

**学校閉庁日**

8月13日(火)、14日(水)、15日(木)、16日(金)

**2学期 始業式**

8月28日(水) 3時間授業で、給食開始になります。